

黒坂黒太郎(正文) 演奏活動50周年記念 歌とコカリナのコンサート



出演

黒坂 黒太郎(正文)(コカリナ・うた・ギター)
矢口 周美(うた・オートハープ)
ザ・コカリナアンサンブル
「南の海の町」合唱団
ハローグリーン
エコー古座川
コール・ジョーダン



薄田真
(ヴァイオリン)



すすきだ真樹
(マリンバ・パーカッション)



宇戸俊秀
(ピアノ)

演奏予定曲

なぜ私は
待っているから
チャルダッシュ
ひばり&熊ん蜂の飛行
南の海の町 など

日時: 2024年8月4日(日) 開演 13:30

会場: 和歌山県新宮市 **丹鶴ホール**

チケット(全席自由)

一般 3,000円

子ども(高校生以下) 1,000円

(各チケット当日500円増)

【チケットお問合せ】

黒坂音楽工房 TEL:03-6909-3363 FAX:03-6909-3536
E-mail:koca@crux.ocn.ne.jp

ミュージックカフェ フォークス

TEL:0735-21-1245/090-4080-6177

福田時計店

TEL:0735-21-2177

主催 黒坂音楽工房(東京都豊島区千早 1-16-14-201 TEL:03-6909-3363)

後援 NPO 法人日本コカリナ協会 新宮市 新宮市教育委員会



45年ほど前、ギターを担いで新宮駅に初めて降り立った日のことをはっきり覚えています。夏の光がキラキラと輝き、別世界のようなものでした。あれからこの町や紀南地域で何度コンサートさせていただいたことでしょうか。そして、今回は50周年。本当にありがたいです。

今回はピアノの宇戸俊秀さんに加え、昨年9月に東京すみだトリフォニーホールで行ったウクライナ支援「大きなひまわりコンサート」で素晴らしい演奏をしてくださった、ヴァイオリンの薄田真さん(読売交響楽団)、マリンバのすすきだ真樹さんご夫妻も共演していただきます。

また、僕が指導するコカリナのアンサンブルも一緒にステージに上ってくれる予定です。彼らと一緒に「木の国」紀州にふさわしい、木の優しいハーモニーの音色を響かせたいと思います。そして45年前、新宮の夏の光の中で歌っていた歌も聞いていただければと思います。

お出かけください。

黒坂 黒太郎(正文)

2022年1月に引き続き丹鶴ホールで唄わせていただく事になりました。黒坂も長い間紀南地方の皆さんにお世話になり、ありがとうございます。私もこのコンサートで黒坂作品を唄わせていただきます。

コロナ禍の中、私の周りの友人達もたくさん他界しました。一日一日、今日が最後の日になっても悔いが残らないように大切に生きてゆければ、と感じるようになりました。

今日、この日、故郷の町でたくさんの大切な方々に囲まれて唄わせていただく・・・、なんて幸せな時間でしょう。

どうぞ、お誘いあわせの上、ご一緒にこの時間を作りに来ていただければ嬉しいです。

矢口 周美

薄田 真 (ヴァイオリン)

国立音楽大学卒業。読売日本交響楽団メンバー。『読響プレミア』(日本TV, BS 日テレ)に出演。2013年より「すすきだ音楽隊」を率いて東北・熊本の仮設住宅や復興住宅の集会所などで100公演以上の復興支援コンサートを行う。

すすきだ 真樹 (マリンバ・打楽器)

東京藝術大学卒業。フリー打楽器奏者。2011年より東北支援活動に力を注ぎ、藝大同期生有志「TARAT1983」によるチャリティ・コンサートを開催する他、「すすきだ音楽隊」として、東北3県と熊本にて支援演奏を継続して行っている。すすきだ音楽隊 公式 blog 『たいことバイオリンの珍道中』

宇戸 俊秀 (ピアノ)

ピアノ、キーボード、アコーディオン奏者。数多くのアーティストのレコーディングに参加する傍ら、自らもアルバム・CDを製作。また、黒坂黒太郎、矢口周美のコンサートに編曲者、伴奏者として参加。2019年「黒坂黒太郎カーネギーホールコンサート」にピアニストとして出演、好評を博す。

ザ・コカリナアンサンブル (コカリナ合奏)

各地のコカリナ合奏団の有志がこの新宮のコンサートのために結成したアンサンブル。低音から高音の様々な種類のコカリナを使用し、木の重なり合う美しい音色を奏でる。今回、紀南地方で初のコカリナアンサンブルを披露する。

「南の海の町」合唱団

紀南地方で活動している合唱団「ハローグリーン」「エコー古座川」「コール・ジョーダン」のメンバー達によって今回のコンサートのために結成された合唱団。黒坂作曲の「南の海の町」を合唱で披露する。

黒坂 黒太郎(正文) (歌・コカリナ・ギター)

長野県上田市出身。コカリナの創始者。1949年長野県上田市に生まれる。民俗学者・故宮本常一氏の激励を受け、全国各地を歩き環境や生活をテーマにした歌を歌い続ける。代表作に水俣病の少女のことを英語で歌った「We can stand」、夕張の子ども達の事を歌った「夕張の子」などがある。1995年、ハンガリーの民族楽器を楽器として精度の高いものに改良し「コカリナ」と命名。コカリナ奏者としてN響メンバーと共演するなどその第一人者として幅広く活躍している。また、広島で被災した木からコカリナを誕生させる。被災樹コカリナの音色はサントリーホールのラジオCMに起用され、2008年日本CMコンクール(ACC賞)でジャーナリスト大賞を受賞。カンヌ国際広告祭にも出品された。2010年、2012年、2014年とウイーン・楽友協会(黄金のホール)で、2017年2019年にはニューヨーク・カーネギーホールでコカリナコンサートを実施、大成功をおさめる。国内の著名クラシックホールでも公演多数。東日本大震災後は被災した松をコカリナにし、被災地の子ども達にプレゼントする被災地支援活動を行った。また、「東京オリンピック」の際には、国立競技場の工事により伐採された木からコカリナを製作、東京や福島の子供達とともに演奏するプロジェクトを行った。現在は、ウクライナの子供達を支援するコカリナひまわりプロジェクトにも携わっている。また2023年小説「独鈷山」を出版。

矢口 周美 (うた)

和歌山県新宮市出身。現在コカリナ奏者黒坂黒太郎のコンサートにボーカルとして参加。黒坂やコカリナアンサンブルとの共演で、ウイーン楽友協会黄金のホール・NYカーネギーホールなどでも歌声を披露。高い評価を得る。また、東京紀尾井ホールや東京浜離宮朝日ホールなどでモリサイタルを開催。成功させる。キングレコードよりCD「あなたに会えて」をリリース。